

4:1 パリサイ人たちは、イエスがヨハネよりも多くの弟子を作ってバプテスマを授けている、と伝え聞いた。それを知るとイエスは、
4:2 —バプテスマを授けていたのはイエスご自身ではなく、弟子たちであったのだが—

4:3 ユダヤを去って、再びガリラヤへ向かわれた。

4:4 しかし、サマリアを通過して行かなければならなかった。

4:5 それでイエスは、ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近い、スカルというサマリアの町に来られた。

4:6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れから、その井戸の傍らに、ただ座っておられた。時はおよそ第六の時であった。

4:7 一人のサマリアの女が、水を汲みに来た。イエスは彼女に、「わたしに水を飲ませてください」と言われた。

4:8 弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた。

4:9 そのサマリアの女は言った。「あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリアの女の私に、飲み水をお求めになるのですか。」ユダヤ人はサマリア人と付き合いをしなかったのである。

4:10 イエスは答えられた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、水を飲ませてくださいとあなたに言っているのがだれなのかを知っていたら、あなたのほうからその人に求めていたでしょう。そして、その人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」

4:11 その女は言った。「主よ。あなたは汲む物を持っておられませんし、この井戸は深いのです。その生ける水を、どこから手に入れられるのでしょうか。」

4:12 あなたは、私たちの父ヤコブより偉いのでしょうか。ヤコブは私たちにこの井戸を下さって、彼自身も、その子たちも家畜も、この井戸から飲みました。」

4:13 イエスは答えられた。「この水を飲む人はみな、また渴きます。」

4:14 しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渴くことはありません。わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。」

イエス様の身に危険を感じたので、サマリアを通過ことにしました。そこでこの女性に会って伝道の機会が与えられました。このように私たちが救いに導く人々は、計画外の出来事によって出会う人が多いものです。主が導かれるからです。そのような伝道の機会を逃さないようにしましょう。背後に働いておられる主の期待に気づきましょう。

イエス様は初めから福音を語ったのではなく、この女性の興味関心、そしてニーズに応じて、伝道しました。これは彼女を慈しんでおられたからです。またその人の人格を尊重しておられたからです。そのように愛をもって伝道しましょう。

新しい年にその希望を持って、祈り続けましょう。チャンスを探して祈ることで、チャンスに気づきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

